

ルールを覚えて楽しく吹こう!

セッション 攻略Q&A

ジャズ・アルトサククス



吉野ミユキ 著



はじめに

あなたがアルトサックスでジャズを演奏したいと思ったきっかけは何ですか？「もともとジャズを聴くのが好きで、最近になり時間に余裕ができたのでサックスをはじめたくなった」だったり、「学生の時に吹奏楽部で演奏していたけど、大人になってジャズを演奏したくなった」など、人それぞれのきっかけがあると思います。

「やってみよう」と思ったところまでは良くて、ジャズをどのように演奏していいのかわからなくて、ひとりで悩んでいる人が多いのではないのでしょうか。「ジャズを演奏する」ということは、どういうことでしょうか。間違いなく言えることは「人と演奏するのがジャズだ」ということです。一生懸命に家やスタジオなどで個人練習をしているだけでは、本当の意味での上達は難しいでしょう。「ジャズのソロピアノはひとりで演奏しているじゃないか」という方がいらっしゃるかも知れませんが、オーディエンスの拍手や熱気からパワーをいただくという点において、ソロのピアニストもまさに「人と演奏している」のです。

ジャズには「セッション」という素晴らしいコミュニケーションの場があります。ルールさえ覚えてしまえば、いつでも参加することができます。しかし残念ながら、何年もジャズサックスを勉強しているのに「もっとうまくなってからセッションに行きます」と言って、ひとりではばかり練習している人がいます。セッションに参加し人と演奏することで、ひとりでは気付かなかった自分の演奏の改善点を見つけることができたり、同じ楽器の奏者の良い演奏を聴いて刺激を受けたり、様々なことを発見することができます。「もっとうまくなる」のをじっと待つより、セッションに行きながら「だんだんにうまくなる」方が遥かに効率的です。

もちろん、家やスタジオでの個人練習も大切です。バランス良くセッションに参加することでモチベーションが上がり、個人練習の効率も上がることでしょう。何より、せっかくジャズという音楽を選んだのですから、ぜひ「人と演奏できる」奏者になってください。セッションに限らず、ビッグバンドに参加したり、仲間とバンドを組んだりするのもいいでしょう。老若男女の分け隔てなくコミュニケーションでき、共通の曲と一緒に演奏できるジャズは一生続けるのに最高の音楽です。

まずは、最初の一歩から。セッション・デビューを目指して、コードとスケールの基礎、フレーズの作り方、セッションに参加するためのルールなどを一緒に学んで行きましょう。

Contents

セッション攻略 Q&A ジャズ・アルトサクソ ルールを覚えて楽しく吹こう！

はじめに 3

第1章 セッションで演奏するために必要な予備知識

Q.1	アドリブができないとセッションに参加できないのでしょうか？	6
A.1	ポイント1 「アドリブ=適当に」という考え方はNGです  TRACK 11~24	6
	ポイント2 ジャズの「言葉」を覚えましょう	7
	ポイント3 「ボケ」と「ツッコミ」で会話してみましょう	9
	ポイント4 「言葉」をスウィングさせるヒントが名曲に隠されています	12
Q.2	リズムにうまく乗れなくて困っています	15
A.2	ポイント1 ベースの音を良く聴きましょう	15
	ポイント2 タンギングの練習をしましょう	16
	ポイント3 ドラムの“シンバルレガート”を意識しましょう	19
Q.3	コードとスケールは覚えた方がいいのでしょうか？	24
A.3	ポイント1 コードの基礎を学びましょう	24
	ポイント2 スケールの基礎を学びましょう（メジャー編）	32
	ポイント3 スケールの基礎を学びましょう（マイナー編）	38
Q.4	リハーサルなしで演奏できるのはどうしてですか？	44
A.4	ポイント1 スポーツと同じようにセッションには「ルール」があります	44
	ポイント2 イントロの次はテーマ、では次は？全体の流れを覚えましょう	47
	ポイント3 自分以外の演奏者の演奏をしっかりと聴きましょう	51

第2章 いよいよセッションデビュー

Q.5	トランペットと2管で演奏することになりよくわかりません	52
A.5	ポイント1 テンポとイントロを正しくメンバーに伝えましょう	52
	ポイント2 先手必勝！まずはトップバッターの座を確保しましょう	54
	ポイント3 アドリブに活用できるフレーズを作ってみましょう	54
	ポイント4 余裕が出てきたらハーモニーを楽しみましょう	58
	ポイント5 Bluesで4バースを演奏する時の「暗黙の掟」とは	58
	●Chord Progressions	60
	TUNE 1 Bags' Groove  TRACK 1 TRACK 6	61
	●アドリブ作成	63
	●Bags' Grooveの名演	64

Q.6	イントロからテーマにうまく入れません	65
A.6	ポイント 1 イントロについて知りましょう	66
	ポイント 2 ペンタトニック・スケールを活用しましょう	67
	ポイント 3 コード・トーンだけでフレーズを作ってみましょう	69
	●Chord Progressions	73
	TUNE 2 You'd Be So Nice To Come Home To  TRACK 2 TRACK 7	74
	●アドリブ作成	78
	●You'd Be So Nice To Come Home To の名演	79
	●素朴な疑問にお答えします(基礎編)	80
Q.7	エンディングがうまくいきません	81
A.7	ポイント 1 エンディングのコード進行について知りましょう	82
	ポイント 2 基本のエンディングを変化させましょう	85
	ポイント 3 半音進行のフレーズを覚えましょう	87
	●Chord Progressions	90
	TUNE 3 Bye Bye Blackbird  TRACK 3 TRACK 8	91
	●アドリブ作成	95
	●Bye Bye Blackbird の名演	96
Q.8	ボサノヴァやラテンの曲のエンディングがわかりません	97
A.8	ポイント 1 エンディングのコード進行について知りましょう	98
	ポイント 2 エンディングに使えるスケールを知りましょう	99
	ポイント 3 ダイアトニック・スケール以外のスケールを使ってみましょう	100
	●Chord Progressions	102
	TUNE 4 Night And Day  TRACK 4 TRACK 9	103
	●アドリブ作成	108
	●Night And Day の名演	109
Q.9	ジャズっぽく演奏できなくて困っています	110
A.9	ポイント 1 歌うことでアーティキュレーションを身につけましょう  TRACK 25~34	111
	ポイント 2 いろいろなスケールを使ってフレーズを変化させましょう	115
	ポイント 3 コード進行を大きく捉えてフレーズを作りましょう	117
	●Chord Progressions	119
	TUNE 5 Softly As In A Morning Sunrise  TRACK 5 TRACK 10	120
	●アドリブ作成	124
	●Softly As In A Morning Sunrise の名演	125
	●素朴な疑問にお答えします(セッション編)	126

Chapter 1

第1章 セッションで演奏するために必要な基礎知識



Q.1 アドリブができないとセッションに参加できないのでしょうか？

吉野先生、はじめまして。佐藤ハジメと申します。独学でアルトサックスを練習しています。ジャズが好きなのでぜひセッションで演奏したいのですが、まったくアドリブができません。こんな状態でセッションに参加しても良いのでしょうか。教えてください。



A.1 お答えします

ハジメさん、はじめまして。吉野ミユキです。セッションはジャズの醍醐味のひとつです。ぜひ参加できるように頑張りましょう。誰でも最初は「初心者」です。セッションデビューを目指して、これから一緒に学んで行きましょう。

ポイント1 「アドリブ＝適当に」という考え方はNGです

「アドリブなんて適当にやればいいんだよ」などと言う人が近くにいたら、決して耳を傾けないことです。「アドリブはその場で考えて演奏するもの」という考え方も、少し間違っています。もちろん他の演奏者との会話である「即興演奏」がアドリブの醍醐味ですが、自分の引き出しに何もなければ、何も出てくるはずがありません。それなりの「仕込み」が必要であることを認識してください。

ではどうすれば良いのでしょうか？まず、ひとつの方法として本書の模範演奏の楽譜の通りにアドリブを演奏してみることです。「それはアドリブではない」と感じるかもしれませんが、すべての芸術は「模倣」から始まるのです。余程の天才ではない限り、先人の偉業を模倣して勉強し、その経験から徐々に自分のスタイルを築き上げるのが芸術の基本です。偉大な画家の模写をしたり、偉大な作家の文章をすべて写したりして学んで行く他の芸術の勉強方法とまったく同じです。私も偉大な演奏者の模倣をして勉強しました。

まずは本書にあるアドリブを参考にしてみてください。もしも好きな演奏者のアドリブのコピー集が手に入ったら、音色やアーティキュレーションもそっくりになるように練習しましょう。将来的には、自分で音を取りコピーできるようになると、更に良いでしょう。

このように、本書にあるアドリブであったり、好きな演奏者のコピーを吹いたりすることは、「アドリブを適当に」吹くことよりも遥かに上のレベルであり、将来につながる方法と言えます。聴いている人や共演者にもきっと好印象を与えることができるでしょう。

このように、アドリブを演奏できなくてもセッションに参加できます。しかし、アドリブを演奏できるようになると、よりセッションを楽しめます。

以上のことを踏まえて、焦らずに徐々にアドリブを演奏できるように、これから学んでいきましょう。

ポイント2 ジャズの「言葉」を覚えましょう

それでは、ジャズの「言葉=フレーズ」を一緒に学んでいきましょう。教材は、Sonny Clarkが作曲した『Cool Struttin'』です。

Cool Struttin'

Sonny Clark

The image shows three staves of musical notation for the piece 'Cool Struttin' by Sonny Clark. Each staff begins with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The first staff has a 4/4 time signature and contains a 'SAMPLE' box. Above the staff are chord symbols: D7, G7, and D7. The second staff also has a 4/4 time signature and contains a 'SAMPLE' box. Above the staff are chord symbols: G7, D7, F#m7(b5), and B7. The third staff has a 4/4 time signature and contains a 'SAMPLE' box. Above the staff are chord symbols: Em7, A7, D7, B7, and a first ending (1. Em7 A7) and second ending (2. (Em7 A7)). Below the third staff is a separate 'SAMPLE' box.

この曲は12小節のBluesです。Bluesの特徴であるBlue Note Scaleにある6個の音だけでできていることを、まずは確認してください。

D Blue Note Scale

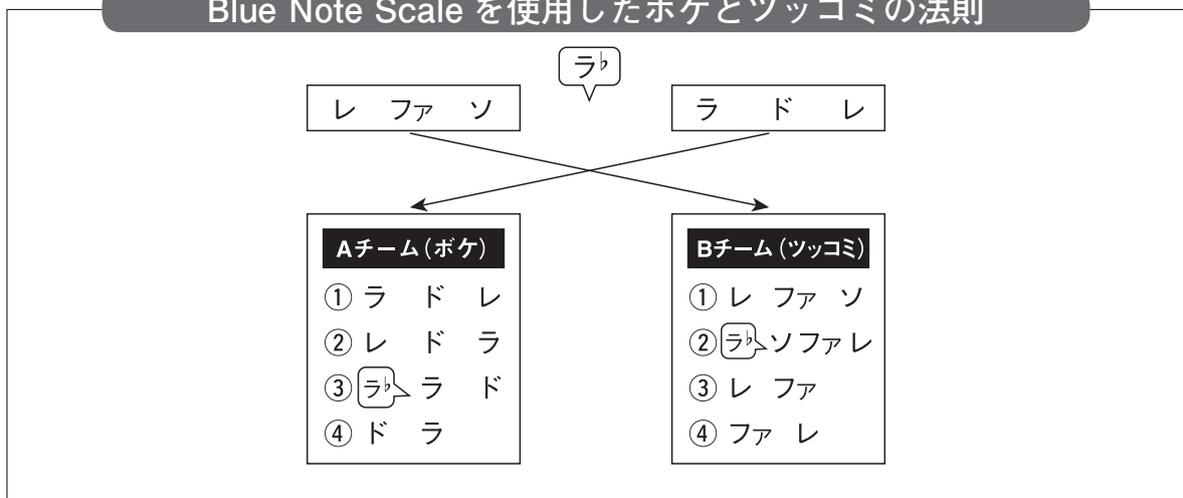
The image shows the D Blue Note Scale on a single staff with a treble clef. The scale consists of six notes: D, E, F, F# (blue note), G, and A. The notes are written as quarter notes.

Bluesのアドリブを演奏する時に、「Blue Note Scaleを使って適当に演奏すればいいんだよ」なんて先輩や周りの人から言われた経験はありませんか？「適当に」と言われても、ただ闇雲にスケールを吹くだけでは「言葉」になりません。

そこで、ぜひ以下の方法で練習してみてください。まずは、Blue Note Scaleを階名で書き出します。「ラb」はこのスケールの中で特にブルーギーな響きを持つ音なので別格と考え、吹き出しに書きます。「レファソ」と「ラドレ」のチームに分け、これを入れ替えてAチームのリーダーを「ラドレ」、Bチームのリーダーを「レファソ」とします。次ページにわかりやすく書きましたので参照してください。

Aチームの「ラドレ」を反対から言って「レドラ」、短くして「ラド」と「ドラ」にしてメンバーに加えます。Bチームも同様にして「ソファレ」と「レファ」、**「ファレ」**を加えます。「ラド」と「ソファレ」の前に、先ほど吹き出しに書いた「ラb」を加えて、完成です。この「ラb」は使わないときもあります。漫才に例えてAチームを「ボケ」、Bチームを「ツッコミ」と呼ぶことに関しては後程、解説します。

Blue Note Scale を使用したボケとツッコミの法則



さて、『Cool Struttin’』が、この8個の中のいくつかの「言葉」だけでできていることに気が付きましたか？
以下にこの曲を階名で書きますので、一緒に確認してみましょう。

ラ ド レ レ ファ ソ ラ ド ソ ファ レ ラ ド レ
A-① B-① A-③ B-② A-①

ラ♭

レ ファ ソ レ ファ ソ ソ ファ レ レ ラ ド レ
B-① B-③ B-② (変形) A-①

ラ♭

ラ ド ソ ファ レ
A-③ B-②

「ラドレ」、「レファソ」、「ラド」…。見事にこの「言葉」しか使っていません。けれども、こんなに格好いい曲になるのです。私はこのことに気が付いた時、衝撃を受けました。そして、この曲の最初の4小節に注目したところ、「Aチーム」と「Bチーム」が交互に出てくることにも気が付きました。なんだか漫才の「ボケ」と「ツッコミ」に似ていると思いませんか？「ラドレ」とボケて、「レファソ」とツッコんだら、また「ラド」とボケる…。漫才師が二人で調子よく会話をしているように思えて、ピンと来ました。名付けて「Blue Note Scale を使用したボケとツッコミの法則」です。次に私が実際のレッスンで行っている方法で、練習してみましょう。

ポイント3 「ボケ」と「ツッコミ」で会話してみましょう

実際にDのBlues(in E^b)のコード進行に合わせて一緒に演奏してみましょう。私がAチームの言葉で「ボケ」しますので、Bチームの言葉で「ツッコミ」をしてみてください。私と会話するような感じで、下の楽譜を演奏してください。私とは違う「言葉」ですが、私と同じリズム、同じアーティキュレーションで吹くように心がけてください。まずは8個の言葉のうちの「ラドレ」と「レファソ」のみしか使わないことにします。

Bチーム TRACK 11



今度は交代して、Aチームを担当してください。私はBチームを担当します。

Aチーム TRACK 12



AチームとBチームの両方を合わせて模範演奏しますので、参考にしてください。  TRACK 13

リズムに乗ってうまく私と会話できましたか？次にAチームの人は「ラドレ」の他に「レドラ」を吹いてもOKとします。同様にBチームの人は「レファソ」の他に「ソファレ」を吹いてもOKです。まずは私がAチームを担当します。Bチームをお願いします。



Q.9 ジャズっぽく演奏できなくて困っています

イントロやエンディング、4バースなどのルールがわかってきて、少し余裕が出てきました。自分のセッションでの演奏を録音して後で聴いてみたのですが、なんだかジャズっぽく吹けていなくてがっかりしました。良い練習方法などがあったら教えてください。



A.9 お答えします

どんなに格好良いフレーズでも間違ったアーティキュレーションで演奏すると、ちっともスウィングしませんよね。しっかりスウィングできるように、一緒に学んで行きましょう。

Softly As In A Morning Sunrise

Sigmund Romberg

Am Bm7^(b5) E7 Am Bm7^(b5) E7

Am Bm7^(b5) E7 Am 1. Bm7^(b5) E7 2. Dm7 G7

C A7^(b9)

Dm7 B7 E7^(b9)

Am Bm7^(b9) E7 Am Bm7^(b5) E7

Am Bm7^(b5) E7 Am (Bm7^(b5) E7)

1928年のミュージカル『The New Moon』のために Oscar Hammerstein II が作詞し、Sigmund Romberg が作曲した。「朝日のようにさわやかに恋はやってくるが、やがて愛の誓いは裏切られ、静かに沈む夕陽のように消えていく」という内容の歌詞。MJQ や Wynton Kelly、Sonny Rollins などが名演を残している。

ポイント 1 歌うことでアーティキュレーションを身につけましょう

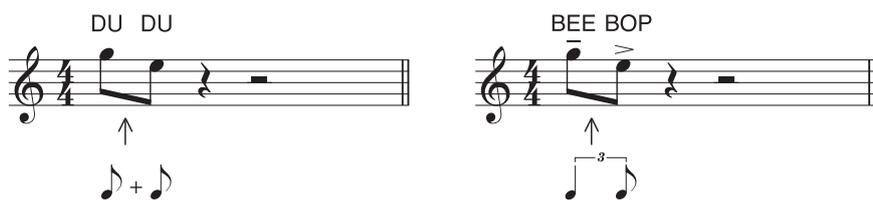
アーティキュレーションについて学ぶときに、オススメの方法があります。次にご紹介するのは、私がジャズを演奏し始めた頃の体験談です。うまく Charlie Parker 作曲の Ornithology を吹けなくて悩んでいた時に、たまたま男性ヴォーカリストがこの曲に歌詞を付けて、アドリブをスキヤットで歌っているのを聴きました。多分、トランペッターの Dizzy Gillespie が歌っていたのだと思いますが、私が学生の頃に図書館で借りたものなので、残念ながらその資料が手元になく、確かめることができません。その演奏を何度も繰り返して聴いていると、その声が楽器のように聴こえてきました。そして、あることに気が付きました。「サククスも言葉を歌うように吹けばいいんだ！」。

その Dizzy Gillespie と思われるヴォーカリストは、8分音符を以下のように「BEE BOP (ビーバップ)」と歌っていました。わかりやすいようにCメジャーのキーに転調して載せます。



「ソ」の音にテヌートをつけて「BEE(ビー)」と長めに、「ミ」の音にはアクセントをつけて「BOP(バップ)」と短めに発音してみてください。なんだか自然にスウィングしてきませんか? 「bebop(ビーバップ)」とは、1940年代に Charlie Parker や Dizzy Gillespie 等が中心になって生み出した音楽の形態ですが、語源の由来はこの8分音符の吹き方「BEE BOP」によるという説があるほどです(別の説もある)。

次に、この譜面にあるテヌートとアクセントをとり、「DU DU (ドウドゥ)」と発音してみてください。8分音符ふたつが均等にある状態です。「BEE BOP」と発音すると、3連符の最初の2つをタイでつないだものが「BEE」、残りの1つが「BOP」になることを下記の楽譜を見て確認してください。比較しながら声に出して発音した後に、楽器でも吹いてみましょう。



このように、同じ8分音符でも吹き方によってスウィングの仕方が違ってきます。自分の好きなミュージシャンのコピーや好きな曲を演奏する時に、どのようなアーティキュレーションをつければ良いのか困ったら、まず、そっくりに歌ってみてください。1小節~4小節ぐらいのフレーズをしつこく声に出して何回も歌って、そのアーティキュレーションを記憶します。その後に、サククスで再現してみてください。

以下は、ジャズを演奏するのに有効なアーティキュレーションの例です。はじめに練習するのにちょうど良い音域の G Major Scale を基本にしたフレーズと Softly As In A Morning Sunrise で実際に使えるように A Harmonic Minor Scale を基本にしたフレーズを載せます。慣れてきたら、すべてのキーで練習しましょう。自分で歌ってアーティキュレーションを確かめてから、楽器で演奏してみましょう。

●DEE BEE BOP (ディー ビー バップ)  TRACK 25 模範演奏 TRACK 31 シンバル・レガート[Ⓐ]

「DEE」と「BEE」を短く切らずに伸ばすことと「BOP」でアクセントをつけることがポイント。

G Major

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP BOP

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP BOP

 TRACK 26 模範演奏 TRACK 31 シンバル・レガート[Ⓐ]

A Minor

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP BOP

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP

DEE BEE BOP DEE BEE BOP DEE BEE BOP BOP

CDのTRACK25～30までが模範演奏、TRACK31と32がシンバル・レガートによるマイナスイワンです。シンバル・レガートは2種類ありますので、指定されたものを選んで一緒に演奏してください。



Softly As In A Morning Sunrise

Sigmund Romberg

$\text{♩} = 130$

Intro

7 $Bm7^{(b5)}$ $E7$

Theme

A Am $Bm7^{(b5)}$ $E7$ Am $Bm7^{(b5)}$ $E7$

Am $Bm7^{(b5)}$ $E7$ Am $Dm7$ $G7$

B $CM7$ $A7$

$Dm7$ $B7$ $E7$

Am $Bm7^{(b5)}$ $E7$ Am $Bm7^{(b5)}$ $E7$

Am $Bm7^{(b5)}$ $E7$ Am $(Bm7^{(b5)})$ $E7$)

Break



ハジメさん、この間は私がリーダーを務めるセッションに参加していただき、ありがとうございました。堂々と演奏していて、とても良かったですよ。



ありがとうございます。イントロやエンディングなどの「ルール」やアーティキュレーションの練習方法、フレーズの作り方などがわかったので、もう不安な気持ちがなくなりました。



ルールがわかれば、セッションは決して怖くないですよ。



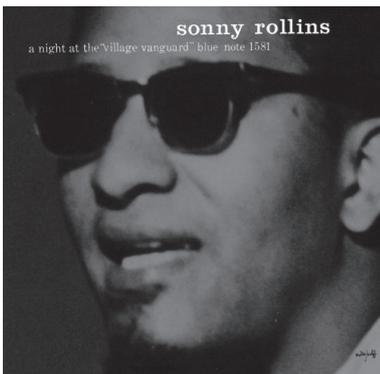
まだまだですけど、セッションに行っているいろいろな曲を初めて会った人や友人ともっと一緒に演奏したくなりました。



セッションを楽しめるようになって何よりです。これからも楽しく続けてください。陰ながら応援しています。

『Softly As In A Morning Sunrise』の名演

A Night At The Village Vanguard Vol.2/Sonny Rollins



1957年11月3日に行われた Village Vanguard でのライブ録音。テナーサクソフ、ベース、ドラムのコードレトリオで自由に演奏する Sonny Rollins の演奏が素晴らしい。同じ日の録音の同タイトルの『Vol.1』でもこの曲を演奏しているが、『Vol.2』の方がテンポが速く躍動感があり、スリル溢れる演奏に仕上がっている。好みは分かれると思うが、この曲に関して私は Vol.2 の演奏の方が好きだ。

1. What Is This Thing Called Love 2. Softly As In A Morning Sunrise (take2) 3. Sonnymoon For Two 4. I Can't Get Stared 5. I'll Remember April 6. Get Happy 7. Striver's Row 8. All The Thing You Are 9. Get Happy (Short Version)

Sonny Rollins (ts) Wilbur Ware (b) Elvin Jones (ds)

Recorded On November 3, 1957

●吉野ミュキ (Jazz Alto Sax Player) プロフィール



埼玉県出身。10歳からアルト・サクスを始める。11歳から秋本康夫氏に師事。日大芸術学部在学中にジャッキー・マクレーンの音楽に出会い、ジャズに目覚める。大森明氏に師事。現在、自己のリーダー・グループで都内近郊のライブ・ハウスで活躍中。作曲とアレンジも手掛ける。

2004年8月にエイベックスより、女性ビッグバンド“Blue Aeronauts Orchestra”のCDとDVD“1st Flight”をリリース。

2009年8月、初のリーダーアルバム“Straightaway”をリリース。スイング・ジャーナル誌の2009年度ジャズ・ディスク大賞にノミネートされるなど高い評価を得る。

2010年、スイング・ジャーナル誌の「ジャズメン読者人気投票・アルトサクソ部門」の12位に選ばれる。

著書に「はじめよう! ジャズ・アルトサクソ 第1巻(CD付・中央アート出版社)」と同シリーズの「第2巻」と「フレーズ集」がある。後進の育成にも力を注いでいる。

吉野ミュキのホームページ・アドレス twitter(ツイッター)
<http://www.gyuchan-jazz.com/> @yoshinomyuki
Facebook「吉野ミュキ」で検索してください。

「美しい音を持ったパワフルなプレイはハートを射抜く」岩浪洋三 ストレイトウェイ / 吉野ミュキ

人気女性アルトサクソ奏者
吉野ミュキ待望の初リーダーアルバム

【収録曲】 1. Straightaway 2. Sweet And Lovely 3. M's Blue
4. Silent Street 5. Cherokee 6. What Is True?
7. All Of Me 8. Cherry Petals 9. Buddy-Buddy
10. These Foolish Things

【パーソネル】 吉野ミュキ(as) 三木成能(p) 矢野伸行(b) 正清泉(ds)



What'sNew Records <http://www.wn-records.com/> WNCJ-2198 ¥2,800 (Tax in) NOW ON SALE!

セッション攻略Q&A ジャズ・アルトサクソ ～ルールを覚えて楽しく吹こう!～

2013年9月30日 第1刷発行

著者：吉野ミュキ
発行者：吉開狭手臣

発行所： 中央アート出版社
CHUO ART PUBLISHING CO., LTD.

〒101-0031 東京都千代田区東神田1-11-4
TEL 03-3861-2861 (代表)
FAX 03-3861-2862

振替口座 00180-5-66324
日本音楽著作権協会(出)許諾第 1310393-301号



表紙：ディーセブン
楽譜浄書：小村ハナ
印刷：新灯印刷株式会社
製本：有限会社 笠松製本所

小社への御意見・御希望は
E-mail info@chuoart.co.jp
ホームページ
<http://www.chuoart.co.jp>

ISBN978-4-8136-0737-3

本書の無断複製・転載を禁じます。落丁・乱丁本はお取替え致します。